

教 科	芸術科	科 目	書道Ⅱ
履修学年	2年	履修規定・週時間	2単位ライフⅡ
教科書	教育図書	副教材	ペン習字の基礎
<p>1. 教科・科目の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書写と書道の違いを説明する。</li> <li>・ 高等学校では更に書の形象性・精神性・用具・用材について考える。</li> <li>・ 漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じり・篆書・隸書と幅広く練習する。</li> <li>・ 篆刻を通して、5つの書体を理解し、自分自身の印を作成し、書道をより深める。</li> <li>・</li> </ul>			
<p>2. 学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書を中心に、とくに筆使いを学ぶ意味で大事な筆の用法を古典の臨書を通して学ぶ。篆刻を行うためと、逆筆の用法を学ぶ意味で、篆書・隸書を臨書する。</li> <li>・ 扇子などの作品づくり</li> <li>・ 篆刻として、自分の名前の1文字の印を作成する。</li> <li>・ 文字の準備は教室です</li> </ul>			
<p>3. 学習方法</p> <p>①授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別教室になるため、移動に注して遅刻者をださない。</li> <li>・ 用具・用材の使用法、決められた番号の硯、筆、墨を使う。</li> <li>・ 臨書を中心に、創作へと発展させる</li> <li>・ 自分の名前を5つの書体（楷書・行書・草書・篆書・隸書）で書く。</li> <li>・ 自分の名前の篆刻作品作成</li> </ul> <p>②家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扇子の創作をするときに、いろいろな言葉の題材を準備してくることを指示 歌詞の一節、4字熟語、座右の銘など</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書の鑑賞として、年間何らかの形で、展示会場を訪問すること（藤蔭祭で、書道の展示場で芳名録に記名）</li> </ul>			
<p>4. 宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休みと冬休みに「ペン習字の基礎」（副教材）を宿題</li> </ul>			
<p>5. その他</p> <p>書の鑑賞の紹介・・・高校生書道展（大阪市立美術館） そのほか書に関する展覧会 藤蔭祭の書道展示を鑑賞する。その際、芳名録に学年組名前を筆で書くことを促す。</p> <p>自由課題・・・他に芸術に関する、展覧会、コンサートなど参加したものをノートにスクラップしておくことを勧めている</p>			